

# 横浜国立大学 「活気ある女性研究者活躍の場を目指して」

## 【男女共同参画の取り組みの状況】

これまで横浜国立大学では、平成20年度に「男女共同参画の基本方針」を策定、平成22年度に「男女共同参画推進室」を設置する等、学内整備や女子学生向け事業等を実施してきた。平成24年度の女性研究者研究活動支援事業（一般型）の採択を機に、平成25年4月に従来の男女共同参画推進室が教育研究機能を備えた「男女共同参画推進センター」として設立された。これ以降、男女共同参画推進センターでは、女性研究者支援事業をはじめ学内の環境整備、意識醸成等に積極的に取り組んでいる。その結果、女性研究者の割合はセンター設立前の15.4%（平成24年度末）から16.9%（平成26年5月）へ上昇している（事業終了時目標：17.0%）。

## 【男女共同参画推進センターの体制】

学内の1部局である男女共同参画推進センター（センター長：山田理事・副学長）は、男女共同参画推進センター運営委員会（センター長、副センター長、理事・事務局長、各部局長選出の教員及びコーディネーターが委員）において、男女共同参画にかかる事業の企画・立案及び実施を決定している。運営委員会の下に女性研究者研究支援部門と男女共同参画部門を設置し、委員が兼務教員として各部局長の窓口を務める。

## 【主な取り組み】

### 女性研究者支援

- ・研究支援員制度：出産、育児等のライフイベント中の女性研究者に院生等の研究支援員を配置して研究を支援するとともに、研究支援員の研究スキルの向上に役立てる。
- ・みはるかす研究員制度：出産、育児等で研究を中断した女性研究者が研究を再開するために必要な研究の場所と時間を提供して、ステップアップを図れるよう支援する。
- ・役員と女性研究者の意見交換会、女性研究者の情報交換会、女性教員メンター制度等、女性研究者支援につながる各種事業を実施している。

### 環境整備

- ・男女共同参画推進センター執務室、サポートルーム、女性研究者の声により学内施設を整備
- ・入試関連業務の際、育児、介護等で勤務の配慮を必要とする教職員への対応に関して、センターから各部局長へ依頼
- ・女性研究者の採用数や上位職の増加に向けた施策の実施
- ・各部局長とコーディネーターによる女性研究者の増加策に関する意見交換を実施

### 意識改革・スキルアップ

- ・男女共同参画意識を醸成するための講演会、セミナー等の開催  
（管理職向け講演会、男女教職員向け子育て情報交換会、学生向けデートDV予防ワークショップ、一般市民向け介護に関する公開講座等）

### 男女共同参画に関する各種の取り組みと事業

- ・女性研究者、女性職員、女子大学院生等に対する個別相談
- ・オープンキャンパス時の女子高校生向け催し（女性研究者の発表&座談会、個別相談等）
- ・教養教育科目「ライフキャリアを考える」の開講
- ・アンケート調査（女性用宿泊施設整備、保育園利用の状況等）の実施
- ・HPによる情報発信、広報誌「YNUさんかくNEWS」の発行
- ・学外のセミナー、シンポジウムへの参加
- ・他大学、神奈川県、NPO法人等との意見交換・連携
- ・キャンパス内にある横浜市認可保育所との連絡会を定期的に開催

## 目標達成に対する現在の評価

横浜国大の自主財源の活用等を通して目標達成に努めている。

---

【連絡先】 横浜国立大学 男女共同参画推進センター  
TEL: 045-339-3234 FAX: 045-339-3234 E-mail: sankaku@ynu.ac.jp  
URL: <http://www.sankaku.ynu.ac.jp/>

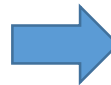
# 活気ある女性研究者活躍の場を目指して



横浜国立大学 男女共同参画推進センター

## 横浜国立大学の男女共同参画の取り組みと現状

- 平成24年度に女性研究者研究活動支援事業（一般型）に採択
- 平成25年4月に従来の男女共同参画推進室を教育研究機能を備えた男女共同参画推進センターに改組
- 女性研究者支援のための各種制度整備、学内の環境整備、意識醸成等の事業に取り組み、男女共に働きやすい職場環境を整えつつある
- お茶大インデックス**（雇用環境整備指標）によると、総合評価は平成24年度が平均点近くの54であり、平成25年度は**13ポイントUPして67**に、回答のあった**37機関中9位**と前進



女性研究者の割合  
**15.4%**（平成24年度末）  
 ↓  
**16.9%**（平成26年5月）  
**PJ 終了時目標 17.0%**



## 女性研究者支援

### 研究支援員制度

ライフイベント中の女性研究者\*に研究支援員を配置  
 (\*大学等に勤務する女性研究者が配偶者である男性研究者を含む)

	研究支援を受けた教員	研究支援員
平成25年度春学期	6	7
平成25年度秋学期	10	17
平成26年度春学期	9	11
平成26年度秋学期	10	16

支援を受けた全ての女性研究者が、研究支援員配置により研究及び教育上の効果が得られたと答え、全研究支援員も自身のスキル向上にプラスと評価。  
 (各学期に両者が提出する「配置報告書」より)

### みはるかす研究員制度

出産・育児等で研究中断した女性研究者の研究再開を支援  
 公募条件：①博士号取得、②本学に受け入れ研究者がいる 任期：最大2年

	みはるかす研究員	研究分野
平成25年度秋学期	4	臨床心理学、分類学・生物多様性学 都市計画・まちづくり、構造工学
平成26年度春学期	4	臨床心理学、有機素化学、構造工学 建築計画学・こども環境学
平成26年度秋学期	2	臨床心理学、有機素化学

「みはるかす」女性研究者が将来を見据えて進んで欲しいとの願いを込めて、本学の学生歌より命名

このうち、**1名**が平成26年4月から**国立大学の常勤の助教**に**1名**が26年9月から**私立大学の常勤の准教授**に、**1名**が**外部資金を獲得**。実質採用者の33%がステップアップを実現！  
 みはるかす研究員は研究とともに本学の事業等でも活躍！！

これらの制度は、大学規程に位置づけられており、採択事業終了後も独自に続けていく方針

### 多様な支援の取り組み

- 役員と女性研究者の意見交換会（年に3回程度開催）
- 女性研究者の情報交換会（平成26年6月より定期的に開催）
- 女性教員メンター制度（新任女性教員に男女のメンターを配置）
- サポーターバンク制度（男女共同参画事業を支援する人材バンク）

## 環境整備

### 施設の整備

- 男女共同参画推進センター執務室
- サポートルーム（体調不良時等に利用可能/女性優先）
- 女性用洋式トイレ、暗がりの照明等



### 女性研究者の採用数・上位職の増加に向けた施策

- 教員補充の採用時、**自然科学系女性研究者の採用に学長の定員枠を措置**、女性研究者採用時に**部局長裁量経費にインセンティブ**を配分、平成26年度は学長裁量経費により女性限定公募の予算を確保
- 各部局長とコーディネーターが女性増加策について面談

## 意識改革・スキルアップ

### 男女共同参画意識の醸成

- 管理職向け講演会  
板東久美子 文部科学審議官（平成25年11月）
- 学生向けセミナー  
デートDV予防ワークショップ（平成25・26年11月）
- 男女教職員向けセミナー  
子育て情報交換会（平成25・26年9月）  
女性職員向け情報交換会（平成26年9月）
- 一般市民向け講座  
「共に創る新しいケアのかたち」（平成26年5月）



## 男女共同参画に関する各種の取り組みと事業

### 相談業務・情報発信

- 女性研究者、女性職員、女子大学院生等に対する個別相談
- 女子大学院生向け情報のメール配信
- HP、「YNUさんかくNEWS」の発行

### 裾野拡大

- 女子高校生向け催し（オープンキャンパス）  
プレゼン&座談会、個別相談、冊子配布等
- 教養教育科目の開講  
「ライフキャリアを考える」

### 情報収集・他機関との連携

- セミナー・シンポジウムへの参加
- 他大学との意見交換・交流
- 神奈川県、NPO法人等との連携

このほかにも、もろもろ・・・